

保存

令和5年度

家庭学習の手引き

(高学年用)



中野区立みなみの小学校

家庭学習の手引き（保護者用）

1 ねらい

家庭学習は、学校で学習したことを振り返り、学力を定着させるための大切な場です。また、授業では扱われないような内容について、詳しく調べたり、追究したりすることができます。

自ら学ぶ習慣を身に付けることで、今後の学力向上や興味関心の広がりにもつながっていきますので、家庭学習を習慣化させましょう。

2 時間の目安

学年×10分以上

1年生 10分 2年生 20分 3年生 30分

4年生 40分 5年生 50分 6年生 60分

※あくまで、目安です。意欲が続くようでしたら、より長時間取り組ませることも考えられます。

3 取り組みせ方

○学校から出る宿題を最初にさせてください。

○時間とやる気に余裕がある場合には、自主勉強や読書などプラスの取組をさせてください。

○集中力が持続しない場合には、他の内容から始めたり、短い休憩をとらせたりするなど、工夫してください。

○学習が終わったら、すぐに次の日の準備をさせてください。

4 家庭学習の役割

○学習時間の確保

塾や習い事など、家庭によって放課後の時間の使い方は、様々だと思えます。忙しい日もあると思いますが、短い時間でも机に向かう時間を必ず確保してください。また、あまり遅い時間帯にならないよう、無理のない時間設定をしてください。

○学習環境の整備

テレビがついていたり、スマートフォンやパソコンをすぐに触ったりできる環境は学習に適しているとはいえません。子供が集中して学習できるような場をつくってください。

○見届け・励まし

子供が取り組んでいるものに目を通してください。よくないところに、つつい目が行きがちですが、がんばったところにも目を向け、大いにほめてあげてください。

○学校との連携

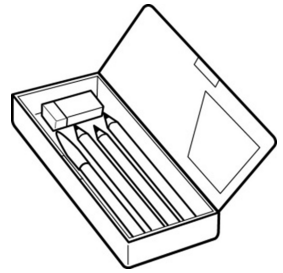
家庭の学習の様子で、気になる点等ありましたら、学校までお知らせください。

※こちらの「学習の手引き」は、ご家庭で保管しておいてください。

家庭学習の手引き（高学年）

1 始める前に

- 机の上や周りを整理整頓する。
- テレビや音楽は消す。
- 時計を確認して、だいたいの終了時刻を意識する。
- 学習用具をそろえる。（筆記用具、下敷きなど）



2 宿題の取り組み方

- 正しい姿勢で取り組む。
- 他のことに気をそらさずに、集中して取り組む。
- 終わったら、必ず見直す。



3 自主学習にチャレンジ

☆時間があるときには、自主学習にチャレンジする。

<国語>

- ・これまでに学習したところを音読する。
- ・読書をする。
- ・これまでに習った漢字の復習をする。（漢字ドリル、キュピナ・ナビマなど）
- ・熟語や慣用句を使つての短文づくりをする。
- ・言葉の意味調べをする。
- ・日記を書く。

<算数>

- ・これまでに習った計算の復習をする。（教科書・計算ドリル、キュピナ・ナビマなど）
- ・自分で問題をつくって解く。
- ・難しい問題にチャレンジする。

<社会・理科>

- ・習ったことを、教科書や資料集を基にまとめ直す。
- ・興味のあることを本やインターネットなどを活用して、調べてまとめる。

4 終わったら

- 取り組んだ学習を自分で見直す。
- 取り組んだ学習を家の人に見てもらう。
- 筆箱を整える。（鉛筆をけずるなど）
- 机の整理整頓をして、次の日の準備をする。

